

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハピネス国際ほみ放課後等児童デイサービス(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 22日		～ R6年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R6年 10月 21日		～ R6年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 26日		

## ○ 分析結果

公表日 令和7年2月5日

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多言語による保育・教育を一体的に行うサポート。	ポルトガル語はもちろんの事、英語・日本語のトレーニングを行っています。	トレーニング時間をしっかりと確保し、利用者様が集中できる環境を提供したい。
2	異年齢とのコミュニケーションをとることにより、他者への理解を深められるようなサポート。	異年齢の行動・気持ちが理解できるように見守りだけではなく、指導員が紹介し異年齢同士が共に過ごせるようなサポートを行っている。	年長者の思いもくみ取りながら、相互理解ができるようなサポートを行いたい。
3	異文化の言語によする、保護者の方に対する各関連機関・行政機関への相談等のサポート。	日本語・英語・ポルトガル語での意思疎通に対する支援を行っています。	日本語での公的文章等を、保護者の方母国語での説明をできるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言葉の壁により、指導員間・利用者様であっても相互理解が難しい場合がある。	コミュニケーションツールを活用しながら相互理解を図っているが、相互理解には限度が出てしまう。	携帯電話の翻訳機能等を活用している。
2	年齢により、活動の好みが変わってしまう為、集団行動が難しい。	年齢差・発達状況・好みの違い	できるだけ共通した好みを見つけ、発達状況に合わせ集団行動ができるようなプログラムを提供している。
3	利用者様の偏食・おやつ好み等があり、更に、食べる時間帯に問題が生じている。	年齢差・環境的要因・性格	栄養が偏らない程度に個人の好みに合わせている。 また、時間帯に対しては他の利用者様に配慮をしながら別の部屋で食べてもらうようにしている。